

月刊「ワークホームだより」9月号

発行:2024年9月23日 発行者:ワークホーム高砂

〒676-0081 兵庫県高砂市伊保町中筋 1331 TEL(079)449-0701 FAX(079)449-4111

http://workhome-takasago.org/ E-mail workhome@nifty.com

ワーク・プライド（誇り）

- あかりだよりの寄稿から見る20周年の意義 -

ワークホーム高砂 副施設長 亀山 隆幸

8月発行の法人機関紙「あかりだより No. 34」。ワークホーム高砂は表紙と20周年記念の3ページを担当しました。寄稿いただいた3名のお言葉を何度も読み返しています。20周年を押しさえないと、30周年は語れないと思うからです。

- ① (株) ゴトウ・アズ・プランニング 安杖 取締役
- ② (社福) あかりの家 三原理事長
- ③ (社福) あかりの家 ワークホーム高砂 長谷川施設長

の3名の方からの祝辞や謝辞。そこには、ワークホーム高砂の20年間の〈活動の意義〉や〈誇り〉を見ることができます。ピックアップさせていただきます。

1. 「設立理念」と20周年

(安杖 取締役)

あかりの家の設立理念の一節、「ともに生きるという存在そのものの連帯が人間社会、生物社会において唯一の真実と思える」を受けて、「働く」ということの実践の場の展開。

(三原理事長)

福祉と企業のそれぞれの特性を生かして、福祉の側から本格的な仕事を提供しよう。

そして、同等に有益な事業を追求。

2. 「活動意義」と20周年

(長谷川施設長)

すべての仕事は社会と繋がっており、中でも我々のクリーニング事業は病院や福祉施設への寝具等の提供を通じて、生活インフラを支える重要な役割をもつ誇りある仕事である。

3. ワークホームの利用者の日常 = 誇り (三原理事長 原稿より)

- A 変わらぬ利用者の皆さんの明るい挨拶
- B 利用者の出勤率が非常に高い
- C 働くことへの誇りある表情。そしてそれは支援者としての喜び
- D 働くことで彼らの人生が豊かになり、それを更に次に繋げていく



ゴトウさんとの協働関係を始め、多くの方々のご理解と利用者・職員の踏ん張りによって迎えることができた20周年。今回の貴重なメッセージを30周年に向けて、追求する覚悟です。

9月の予定

9月 11日 (水) 工賃支給日

※工賃支給日に身だしなみチェックを行います。

9月 13日 (金)

~14日 (土) 城崎一泊旅行

9月 28日 (土) 保護者研修会

(青葉仁会事業所見学)

給食アンケートを行いました♪

8月21日の給食会議に向けて、給食アンケートと題し給食の感想や「こんなものが食べたい!」といったリクエストなど、なんでも自由に書いていただきました。今まで口頭では何度か聞いていましたがなかなか意見が出ませんでした。アンケートにして紙に書いていただくと皆さんスラスラ書いて下さり、毎日の給食をととても楽しみにされていることが伝わってきました。一部内容を紹介します。

- ・「いつもおいしい食べています。ふりかけは毎日入れてほしいです。」
- ・「ローストビーフが食べたいです」
- ・「おでんがおいしい すき たきこみごはん すき ソースのうどんが すき」
- ・「ゴーヤいため食べたいです」
- ・「トウモロコシの芯はいらないのでとってほしい」
- ・「夏にアイスクリームをだしてほしい」

とても具体的でありたいご意見としてひでかつ給食さんと共有させていただきます♪



福田 聖悟
おいしいよ
とりに肉
ふた肉

また、おがめご飯と
炊き込みごはんが食べたいです。



あかりちゃん

今月の担当は、重田でした。

夏休みお仕事体験会

7月30日、8月6日、8月20日、8月27日に中学生・高校生の計8名の方がお仕事体験会に参加されました。

「働く」ことが初めての方もおられ、緊張や不安な気持ちがある一方でワクワクしている様子でした。暑い中でしたが一生懸命取り組んでおられ、綺麗に畳めた時や終わった時にはとても嬉しそうなお顔をしておられました。

今回のお仕事体験を通して少しでも「働く」ことが楽しいと感じてもらえれば嬉しく思います。(長瀬)



今年もみんなで健康診断!



8月3日(土)にワークホーム高砂、納豆工房なっとこちゃんの両事業所の利用者及び職員の健康診断をワークホーム高砂で実施しました。

関係書類の提出などにご協力いただきありがとうございました。

注射が苦手な利用者さんも支援員に見守られ、励まされながら採血してもらっていました。終了後、頑張ったね!と褒められ嬉しそうにされていました😊

なお、健康診断結果は後日お知らせをいたします。今回の結果を踏まえ、精密検査の必要性があれば病院受診やかかりつけ医への報告をよろしく願います。(山本)



ソーシャルワーク実習受け入れ

関西福祉大学の学生さんが、法人あかりの家での実習24日間のうちワークホームに6日間学びに来られました。

ワークホームの暑さに驚きながらも積極的に利用者さんと関わり、楽しそうに過ごされていました。

ワークホームの利用者さんや職員の楽しい雰囲気を肌で感じ、就労支援の現場に少しでも興味を持っていただけたら幸いです。(重田)



ばんたん地区職員研修会



7月23日(火)に播磨地区職員研修会に参加しました。今回の研修は『アートでつながる福祉 自分の「できる」を活かす支援』というテーマでした。研修はデザインドリルというものを使って、実際に色を塗ったり簡単な絵をかいてみたりとワークを中心に行われました。アートと聞くとハードルが高いように感じていましたが、この研修に参加してみて、少しの工夫で誰でも簡単にはじめることができるようになりました。いきなり「好きに描いてください」と紙を渡されても戸惑う人がほとんどだと思いますが、「絵を描く」ではなく「マスを塗りつぶす作業」と設定してドット絵を作ったり、一つのマーク、例えば○をいろんな色で100個描けばそれも立派なアートになります。ひとりひとりの特性に合わせた工夫をすれば誰でも気軽に始めることができると感じました。

講義では「アートは積み重ね。描いた人の積み重ねた時間がアート(絵)に出る。」というお話を聞きました。作業中心のワークホームですが、少しずつ始めることができれば良いなと思いました。(新山)

